

国際会議を側面支援

市観光協会 受け付け、案内窓口



ILDミーティング会場に開設された観光PRコーナー

次世代の大型加速器「国際リニアコライダー（ILC）」に関連する国際会議「ILDミーティング2018」では、

一関市観光協会が欧米各国から訪れた研究者らの受け付け業務を請け負った。同協会が国際会議に携わるのは今回が初めてで、会場に地元の観光PRコーナーも開設しており、今後もILCの実現に向けて側面から支えていく。

同協会では先端加速器科学技术推進協議会（AA）とサンリオがコラボレーションしたグッズ「サイエンス×ハローキティ」を取り扱うなど、ILC誘致への機運醸成

に積極的に取り組んでいく。今回は主催者側からの依頼を受け、会議開幕前日の19日に同市駅前の一関観光案内所を会議出席者の登録受付会場として提供。市内の宿泊のとりまとめなども担当した。

20日には会議が開かれている同市大手町の一関文化センターに観光PRコーナーを開設。今回の会議に合わせて作製した英語版の観光案内や語り

部タクシーのPRチラシなどを出席者に提供している。

今後も国際会議の開催などが見込まれるが、同協会では柔軟に対応していく方針で、菅原清忠事務局長は「今後も国際会議があれば一生懸命手伝いたい。海外の人たちに一関、平泉の魅力を知ってもらい、私たちが全力でサポートすることで喜んで帰ってもらいたい」と語っている。